デジタルトランスフォーメーション戦略
2025

株式会社アローリンク

デジタル技術と向き合う

当社はモバイル事業を起点としており、スマホが市場に普及する前より、先駆者として「未来のあたりまえを」常に掲げ、ITツールやIT技術と向き合ってきました。

また、コロナ禍においてデジタル技術がいかに重要な役割を果たすかを理解し、アフターコロナにおいても重要であることは変わらず、社会全体にその価値を提供することを使命としています。

デジタル技術を取り入れた製品やサービスを提供することにより、顧客のニーズに合ったソリューションを提供します。また、当社は、デジタル技術を活用することで、顧客のビジネスを促進し、競争優位性を確保することを支援します

現在のデジタル技術の普及には、以下のような課題があります。まず、デジタル格差が存在し、一部の人々しかデジタル技術を活用できない状況があります。また、セキュリティリスクやプライバシー保護などの問題も指摘されています。

デジタル技術の普及において先駆者となり、これらの課題を克服し、より多くの人々がデジタル技術を活用できるよう、取り組みを続けていきます。当社の使命は、デジタル技術を通じて社会に貢献することです。

当社は最新のテクノロジーを駆使し、先駆的な取り組みを続けていきたいと考えています。

アローリンク×DX

▶Vision

DXの推進によって、社会に新しい価値を提供し、未来のあたりまえを創造する
デジタルの活用により、新しい未来を切り拓き、人々にとってのあたりまえを作り出す

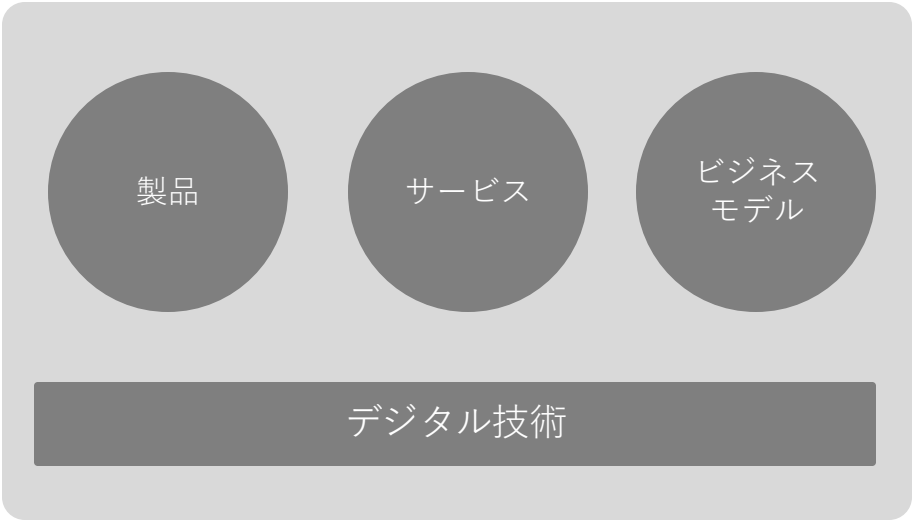
▶アローリンクがDXに取り組む理由

いつの時代も誰も未来の世の中をイメージできていないとき、誰かがイノベーションを起こし
世の中に広めています。
現れた瞬間は、その異様さゆえ受け入れられないこともあるでしょう。
それが月日とともに世の中の常識へ変わり、あたりまえになってゆく。
アローリンクは時代の先駆者となり「未来のあたりまえ」を世界に広げていきます。

アローリンクが目指すDX

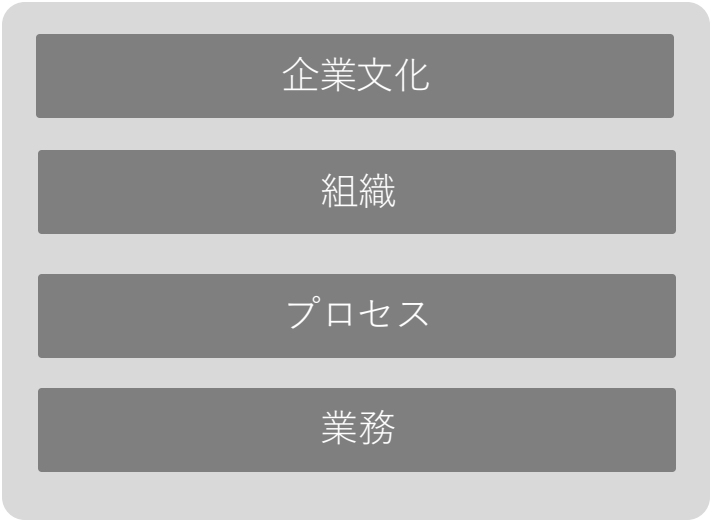
人財１人の成長・活躍

顧客起点での「サービズ価値向上」「新たな価値」を



提供価値への変革

デジタル技術により業務を変革し
ライフ・ワーク・バランスを充実



組織の変革

DX戦略

DXレベルをレベル0から4まで定め、自社のDXを推進してまいります。
デジタル技術を活用する実践戦略である「デジタルへの移行」、「DX強化」の過程を経て、「DXソリューション」の実現を目指します

最新の
IT技術

レベル	DXレベル
4	**AI活用による業務効率化** AIを活用した自動化やデータ分析により、業務フローのさらなる効率化を推進
3	**デジタルビジネスの強化** 受託開発、プロダクト・サービス分野での競争力強化、お客様への提供価値向上、既存事業の強化を図る
2	**デジタル効率化** デジタルデータを用いた自動化、自立化
1	**デジタル化** アナログ情報をデジタル化する

実行戦略

スマートオペレーション戦略

AIによる最適化で「賢い（スマート）業務運用」を実現する戦略

デジタルビジネス強化

新たな事業への挑戦
既存事業の強化

デジタル活用による効率化

デジタル移行によるデジタル活用の効率化強化へ

デジタルプロセスへの移行

ITツール活用によるデジタル化へ移行

DX推進の具体的な取り組み

DXレベルに応じ、サービスの創出、生産性向上に取り組んでおります

最新の
IT技術

DXレベル

4 **AI活用による業務効率化**

AIを活用した自動化やデータ分析により、
業務フローのさらなる効率化を推進

3 **デジタルビジネスの強化**

受託開発、プロダクト・サービス分野での競争力強化、
お客様への提供価値向上

2 **デジタル効率化**

デジタルデータを用いた自動化、自立化

1 **デジタル化**

アナログ情報をデジタル化する

具体的な取り組み

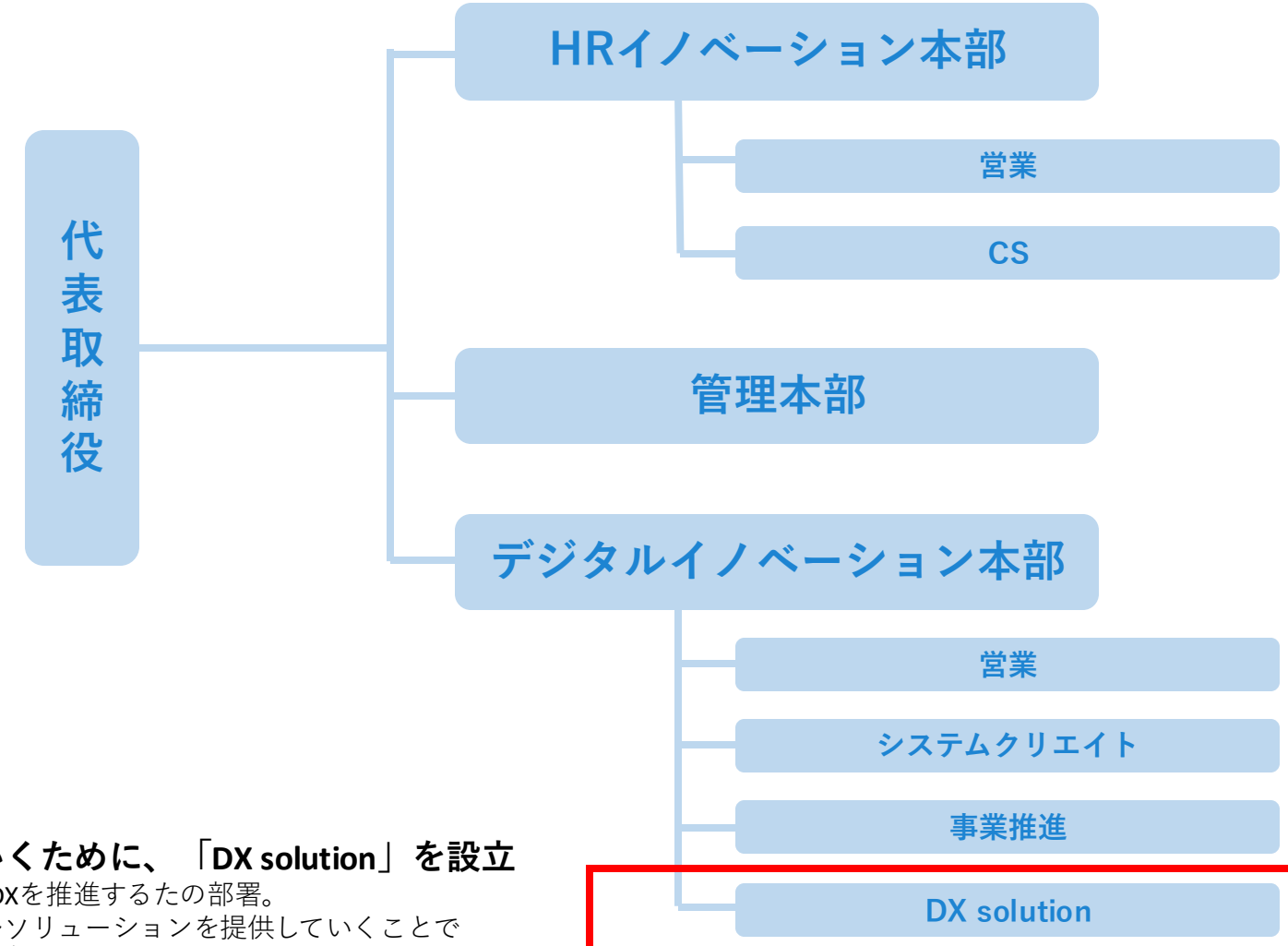
■スマートオペレーション戦略
レベル1～3にDX価値を高めるためにAIによる自動化・予測分析・最適化を組み合わせ、ビジネスと業務プロセスの新たな価値創出を実現します。

■ビジネスの強化
①②採用領域の既存顧客には労務や経理担当も多いことから、既存のnext商材に業務自動化サービスを提供することにより、課題解決という視点での顧客の働き方改革にも貢献していく

■デジタルデータによる自動化
①データ化された勤怠情報をもとに欠勤や残業時間を自動集計を行う
　└月末月初に発生する大量業務のため残業時間を減らし、生産性を上げ働き方改革の推進をしていく。
②デジタル化されたデータをRPAを使い帳簿入力を行う
　└転記作業を自動化し、時間を作ることで人にしかできない重要業務に注力する

■ITツール活用によるデジタル化へ移行
①紙媒体の出勤簿管理を勤怠管理システム（タッチオンタイム）に移行
②OCRを活用し、請求書/契約書を紙データからデジタルデータへ移行

DX推進体制



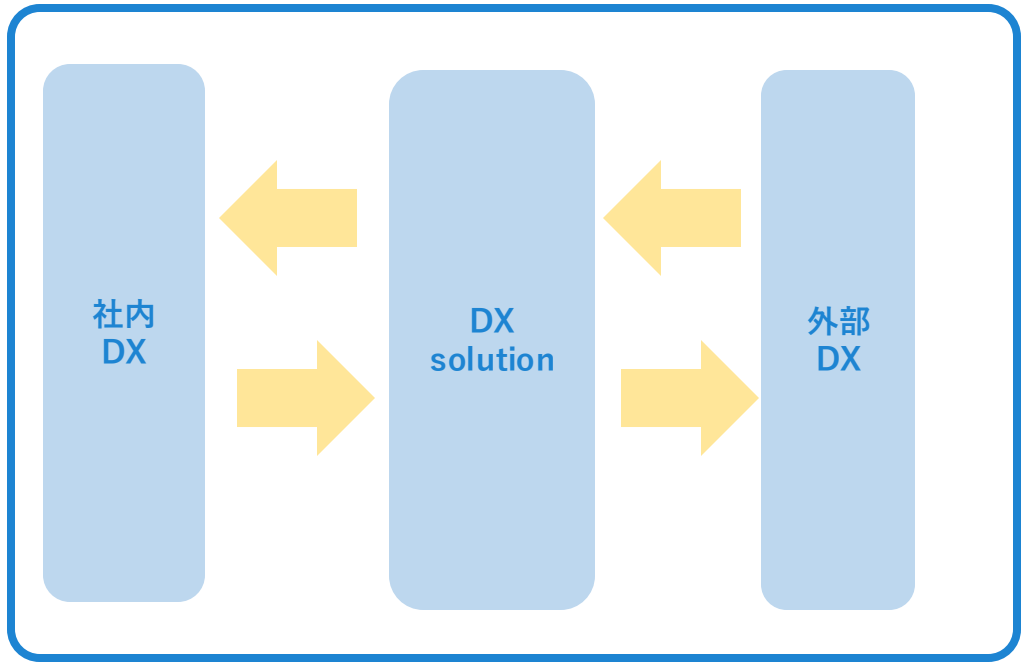
DXを推進していくために、「DX solution」を設立

DXを推進するたの部署。
最適なデジタルソリューションを提供していくことで
会社全体のDX化を促進します。

総合的なDX推進するためのソリューションを提供

DX solutionを設立

DXを推進していくための部署を設立。
最適なデジタルソリューションを提供していくことで会社全体のDX化を促進します。



DX人財の確保、育成

＜DX育成の環境＞
・DX人財を育成するための研修の参加サポート

＜専門家との繋がり＞
・外部コンサルとの契約によるDXスキル向上

＜社内での情報整備＞
・ DX共有のレベルの向上

環境整備の具体的な方策

DX推進の各テーマにおいて、ツールやシステム環境を整備しており、一定の成果が見られていることから、更なるDX推進に着手し続け、より効率的な経営・環境整備を実現していく。

社内DX推進による生産性向上

＜情報の整備＞
・Googleドライブ×社内SNSへの社内データの集約及び一元管理化、情報整理

＜情報の把握＞
・ログ管理や業務時間計測による業務工数の可視化

＜DX推進の成果＞
・自動化による削減人件費算出、生産性の向上

DX推進による指標

2023年～の３カ年計画とし策定

DX推進による社内DXスキル強化

- 部署に１人、RPA開発、AIスキル習得
- DX人財育成のための研修を実施数
- DX化による業務改善の意見交換会の実施数

**DX推進による
顧客へのアプローチ**

- 既存事業の顧客へのDXに関する相談件数
- DXに関するセミナー開催数

セキュリティ対策

▶情報処理推進機構(IPA)が実施している、
「SECURITY ACTION」における二つ星を宣言いたします

▶定期的なセキュリティ監査の実施

▶全社員にむけてセキュリティ知識の周知（研修・情報発信等）

▶情報セキュリティ関連規定の策定

実務執行総括責任者からのメッセージ

今後ますます競争が激化するビジネス環境の中で、より高い価値を提供し続けることが求められています。
そのためには、デジタルトランスフォーメーション（DX）が必要不可欠です。
DXにより、ビジネスプロセスの効率化や業務の自動化が可能となり、生産性の向上や新しいビジネスモデルの創出が実現します。さらに、DXは新たなビジネスチャンスを生み出すことができます。
例えば、AIやIoTなどの最新技術を活用したサービスや製品の提供、新しい顧客層の開拓などが挙げられます。DXにより、私たち企業はより多様な市場に参入し、成長することが可能となります。
しかし、DXには多くの課題もあります。例えば、組織内の文化や業務プロセスの変革、人材の確保や育成、セキュリティの確保などです。これらの課題をクリアするためには、DX推進に向けた取り組みが欠かせません。
私たちは、DX推進に向けた取り組みを積極的に進め、新しい価値を創造し、より多くのビジネスチャンスをつかんでいくことを目指します。私たち自身がDXの先駆者となり、未来のあたりまえを創造していくことが、私たちの使命だと考えています。
最後に、DX推進に向けた取り組みには多大なリソースが必要ですが、それによって得られる価値は計り知れません。
私たちは、組織全体での取り組みを通じて、DXを推進し、企業価値の向上や社会貢献につながる活動を展開していくことをお約束いたします。

株式会社アローリンク
代表取締役　安東由歩

Arrow
Link